

第30回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和2年1月27日（月）

午後4時45分より

場 所 名張市役所303・304会議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

池田 守 （市民公募）
石川 裕三（市民公募）
澤田 恭子（市民公募）
室谷 芳彦（地域づくり代表者会議副会長）
津田 末子（名張市老人クラブ連合会女性部副会長）
細川 智之（名張市保育所（園）認定こども園保護者会連絡協議会会長）
辻 ふみ子（名張市身体障害者互助会スポーツ担当部長）
中平 恭之（近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科准教授）
川端 邦裕（三重交通株式会社伊賀営業所所長）
深山 桂右（深山運送有限会社名張エフバス営業所所長）
川瀬 和也（代理出席、株式会社メイハン常務取締役）
豊永 育子（公益社団法人三重県バス協会）
森澤 淳 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）
森木 忠彦（伊賀建設事務所副所長）
河本 直紀（三重県名張警察署交通課長）
鈴木 博行（国土交通省中部運輸局三重運輸支局主席運輸企画専門官）
天野 圭子（三重県地域連携部交通政策課課長）
谷本 浩司（名張市都市整備部部長）

（2）事務局

都市整備部都市計画室4名

会議の公開・非公開 : 公開

傍聴人：0名

協議案件：①錦生コミュニティバス「ほっとバス錦」の路線延長及び運行経路等の変更について

②山添村コミュニティバスのダイヤ改正について

1. 挨拶

会長：中平恭之委員

2. 議事内容

<協議案件>

①錦生コミュニティバス「ほっとバス錦」の路線延長及び運行経路等の変更について

事務局 (資料に基づき説明)

座長 ありがとうございます。ただ今ご説明いただきました案件につきましてご意見ご質問ございませんでしょうか。

委員 運行時期が平成20年になっていますがこれは平成30年か31年の間違いでしょうか。

事務局 こちらはほっとバス錦が走り始めたのが平成20年からということです。

委員 変更の時期ではないのですね。わかりました。

座長 その他ございませんか。

委員 ビバホームまで路線を延ばしていただくということですが、途中黒田大橋のもとにブックスアルデという大型書店があるのでそちらにも寄っていただいたらより便利がいいのではないかと思います。それと変更前と後のダイヤを見比べてみますと、変更前のダイヤは大和龍口が始発で市役所まで行って最後大和龍口まで帰ってくるというダイヤになっていますが、変更後は市役所が始発でそこから大和龍口まで4往復して最後市役所に戻ってくるというダイヤになっています。バスを利用されるのは錦生地区の方が市内の各所へ用務等で行かれることが多いと思いますが、それでしたら乗車のチャンスで言うと1回少なくなってしまうのではないかと思います。このダイヤを動かすことは難しいと思いますが今後の検討課題にさせていただければと思います。

座長 ありがとうございます。事務局から何かあればお願いします。

事務局 まず、停留所の件につきまして、ほっとバス錦につきましては運行の主体がほっとバス錦運営協議会という地域が主体となって運行していただいているバスになりますが、事務局としてビバホーム前を追加するにあたりまして、途中にある店舗に停留所を設けることについての検討を投げかけさせていただいたのですが、地域の方でご検討いただいた結果、ビバホーム前でのみバス停を設置するというに至ったと聞いています。それからバスの運行時刻の件につきましても今回路線が延長する関係で1つの運行経路にかかる距離や時間が長くなっていく関係で、バスの運行経費など総合的に勘案しまして結果的に始発と終着を名張市役所というかたちで時刻の見直しをしていただいたところでございます。こちらについてはもちろん錦生地域の方が主体となって運行しているバスで地域の方が乗ることが多いわけでありまして、名張市役所まで来ということでは途中で経由をする地域の方も利用していただくことも可能なバスですので、そういった利用促進についても地域と一緒に考えていきたいということで事務局としても思っているところです。

座長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。今ありましたように本屋さんが近くにあるので、住民の方の希望が多数出てくればまた検討するということになるかと思えます。名張ご出身でない方もいらっしゃるので、ビバホームのところには実はスーパーもありまして、薬局もございます。おそらくビバホームの需要というよりはスーパー

の需要が高いかなと思います。駐車場がビバホーム前のところをお借りするのでビバホーム前というバス停表記になっています。スーパーの万代さんですが、人気のスーパーで人もたくさんいらっしゃるのので需要があるということだと思います。その他いかがでしょうか。

委員 先程の時刻表のところですが、1便の変更後の駅への到着時間を見ますと、変更前は8時37分で変更後の名張駅東口への到着時間は9時1分となっています。利用実態がわからないのですが、例えば通勤に使うのに8時37分なら乗っていたけど9時1分の到着では乗れないという学生さんなどの方は利用状況が変更後はどうなるのかなと思います。もちろん地元の方が決められた時間だと思いますが。

事務局 過去乗込み調査等で利用の実態も確認させていただいていますが、通勤通学での利用はあまり見られない路線でもありますので大丈夫だと思います。

座長 僕の方でデータを合成させていただいたのですが、2年間通勤通学での利用は0と出ておりますので通勤通学への影響はないと思いますが、ひょっとしたら今後そういったところが出てくる可能性はないわけではないので、その際には時刻変更等対応せざるを得ないと思っておりますが、先程もあったように経費の問題もありますので、そのあたりは勘案しながら別の輸送方法で補完していくのかということも考えながらやっていかないとと思っております。その他ご意見ご質問ございませんでしょうか。運行について深山さんから何か追加でご説明等ありましたら。

委員 この4月1日から運行の変更をお願いしているところですが、ビバホーム前ということで地域の要望があって運行させていただきますが、買い物施設の駐車場の中ですので弊社としても当初危険ということで別のご提案もさせていただいたのですが、やはりビバホームの近くで乗車したいということで危険はあるのですができるだけ回避できるような運行ルートをご提案させていただいて弊社としても安全第一の運行を心がけていきたいと思っております。

座長 ありがとうございます。ぜひ安全第一で運行していただければと思います。その他ご意見ご質問ございませんでしょうか。それでは、本案件につきまして皆様のご承認が必要になってくるわけですが、何かご異議のある方はいらっしゃいますか。それでは異議なしということで本会議としまして本案件については承認とさせていただきたいと思っております。

②山添村コミュニティバスのダイヤ改正について

座長 それでは協議案件の2つ目でございます山添村コミュニティバスのダイヤ改正に事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局より資料に基づき説明)

座長 ご説明ありがとうございます。ただ今のご説明に関してご意見ご質問ございませんでしょうか。

委員 変更ダイヤのことについてはこれでいいと思いますが、このバスは名張山添線の廃止代替のバスが廃止になった後のコミュニティバスだと思いますが、停留所の中の葛尾から

名張駅方面への乗車は可能ですがかつて路線バス時代には乗降ができていた薦生と東町、松崎町からは乗車ができないとなっておりますが、この時刻からは名張駅方面へ行くニーズもあると思いますがこれは制度上乗降ができないことになっているのでしょうか。

事務局 山添村が運行するコミュニティバスは、一般のいわゆる路線バスのようなコミュニティバスではなく市町村運営の自家用有償運送という形態で運行しているバスで名張市ではあららぎ号がそれにあたります。この形態のバスは利用者が非常に限られておまして基本的に市町村運営の場合は市町村内の地域の住民の方もしくはそこに用務のある方のみしかご利用ができないという形態のバスですのでご指摘の通り指定のバス停からは乗降できない場合があります。ただ、薦原地区につきましては薦原地域が運行しておりますコモコモ号があり、そちらで桔梗が丘駅まで現在は運行しております。それをもって地域から外出ができるという状況になっております。

座長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

委員 はい。そういう事情があったということですね。

座長 その他ございませんでしょうか。1点気になったのですが、時刻を変えることによってバス停で例えばコミバスと時刻がかぶってしまうとか三重交通さんのバスも東町や松崎町を走っていると思いますがそのあたり時刻が重複してしまうような時刻変更になっていないかというのは少し気になったところで、そのあたりは山添村さんの方でチェックされているとは思いますが、もしそういうことがあれば一度ご連絡していただいてチェックの方していただければと思います。その他ございませんでしょうか。

委員 今回マックスバリュまで路線延長をするということですが、関係者との協議はもう終わっているという理解でよろしいでしょうか。

事務局 説明が不足しており申し訳ございません。マックスバリュについては昨年路線延長をすでにしておりまして現在運行しているところでございます。

座長 マックスバリュまで行っているというのも、車両が小さいので可能ということもありますので、今名張市内を走っている大きなコミバスだとマックスバリュさんの中でバスを停留させる場所が無いそうでその辺ご理解をいただきたいと思います。皆さんのマックスバリュに行きたいという需要が多いというのは存じ上げているところですが、このバスは非常に小さい車両なので乗り入れが可能ということです。その他よろしいでしょうか。それでは、本案件につきましても皆様のご承認が必要になりますが、何かご異議のある方はいらっしゃいますか。それでは異議なしということで本会議としまして本案件については承認とさせていただきたいと思います。最後にその他ですがまずは委員の皆様から何かございませんでしょうか。事務局から何かございますか。よろしいでしょうか。それではなしということですので進行を事務局にお返しいたします。

事務局 中平会長、委員の皆様ありがとうございます。本会議で承認の結果によりまして山添村のコミュニティバスは山添村におかれまして今後陸運局への手続きが進められることとなります。これをもちまして第30回名張市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。長時間にわたりありがとうございます。